

桜台小学校・桜台中学校 コミュニティ・スクール説明会

白井市教育委員会 教育部 学校政策課

目次

- 1 コミュニティ・スクール(CS)の概要について
- 2 これからの学校と地域とPTAについて
(主に学校運営協議会について)
- 3 CSの魅力について
(主に学校運営協議会の導入事例について)
- 4 地域住民ボランティアの関わり方について
(主に地域学校協働本部について)
- 5 まとめ

目次

1 コミュニティ・スクール(CS)の概要について

2 これからの学校と地域とPTAについて

(主に学校運営協議会について)

3 CSの魅力について

(主に学校運営協議会の導入事例について)

4 地域住民ボランティアの関わり方について

(主に地域学校協働本部について)

5 まとめ

コミュニティ・スクールとは

「**学校運営協議会**」を設置している学校のこと



「学校運営協議会」とは

学校の運営と必要な支援について、学校と保護者や地域の大人で話し合う会のこと



「学校運営協議会制度」

学校の運営と必要な支援について、学校と保護者や地域の大人で話し合う**仕組み**こと



コミュニティ・スクールとは

「学校運営協議会」

を設置している学校のことと

「学校運営協議会制度」

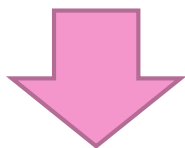
の両方を表す言葉です



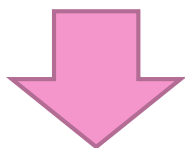
(コミュニティ・スクール)

なぜCSが必要なのか？

学習指導要領が改訂(およそ10年に1度)



理念が「社会に開かれた教育課程」となった



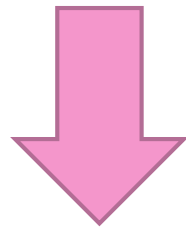
「社会に開かれた教育課程」を支える制度として、
コミュニティ・スクールが進められている



コミュニティ・スクールでは

地域でどのような子どもたちを育て
るのか、何を実現していくのか

目標やビジョン



保護者・地域住民等と共有

連携・協働して学校づくりをしていく

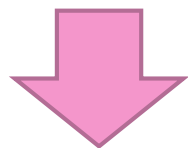


(コミュニティ・スクール)

CS導入の背景

国の第3期教育振興基本計画

(計画期間:2018~2022年度)



学校運営協議会をすべての公立学校において導入することを目指す



(コミュニティ・スクール)

CS導入状況(全国)

47都道府県合計18,135校 / 34,687校
導入率 52.3%

【内訳】

小学校 10,812校(58.6%)

中学校 5,167校(57.3%)

高等学校 975校(33.2%)

特別支援学校 511校(45.7%)

他

(令和5年5月1日現在)



(コミュニティ・スクール)

CS導入状況(千葉県)

千葉県合計 392校 / 1351校
導入率 29%

【内訳】

小学校 } 339校 (30.5%)

中学校 }

高等学校 25校 (19.4%)

特別支援学校 22校 (50%)

他

(令和5年5月1日現在)



(コミュニティ・スクール)

CS導入に向けた県の方針

- 県内全ての県立学校へ導入を推進
(目標年次:令和7年度)
- 各市町村における全ての公立学校へ
導入を促進

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)導入ガイダンスより



(コミュニティ・スクール)

白井市のCS導入方針

■ 令和6年度

桜台小学校・桜台中学校に「学校運営協議会」を設置

■ 令和7年度

市内全小中学校に「学校運営協議会」を設置



目次

1 コミュニティ・スクール(CS)の概要について

2 これからの学校と地域とPTAについて
(主に学校運営協議会について)

3 CSの魅力について
(主に学校運営協議会の導入事例について)

4 地域住民ボランティアの関わり方について
(主に地域学校協働本部について)

5 まとめ

動画視聴①

これからの学校と地域とPTA

～コミュニティ・スクールとPTA～

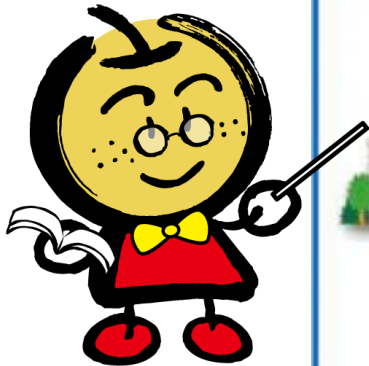
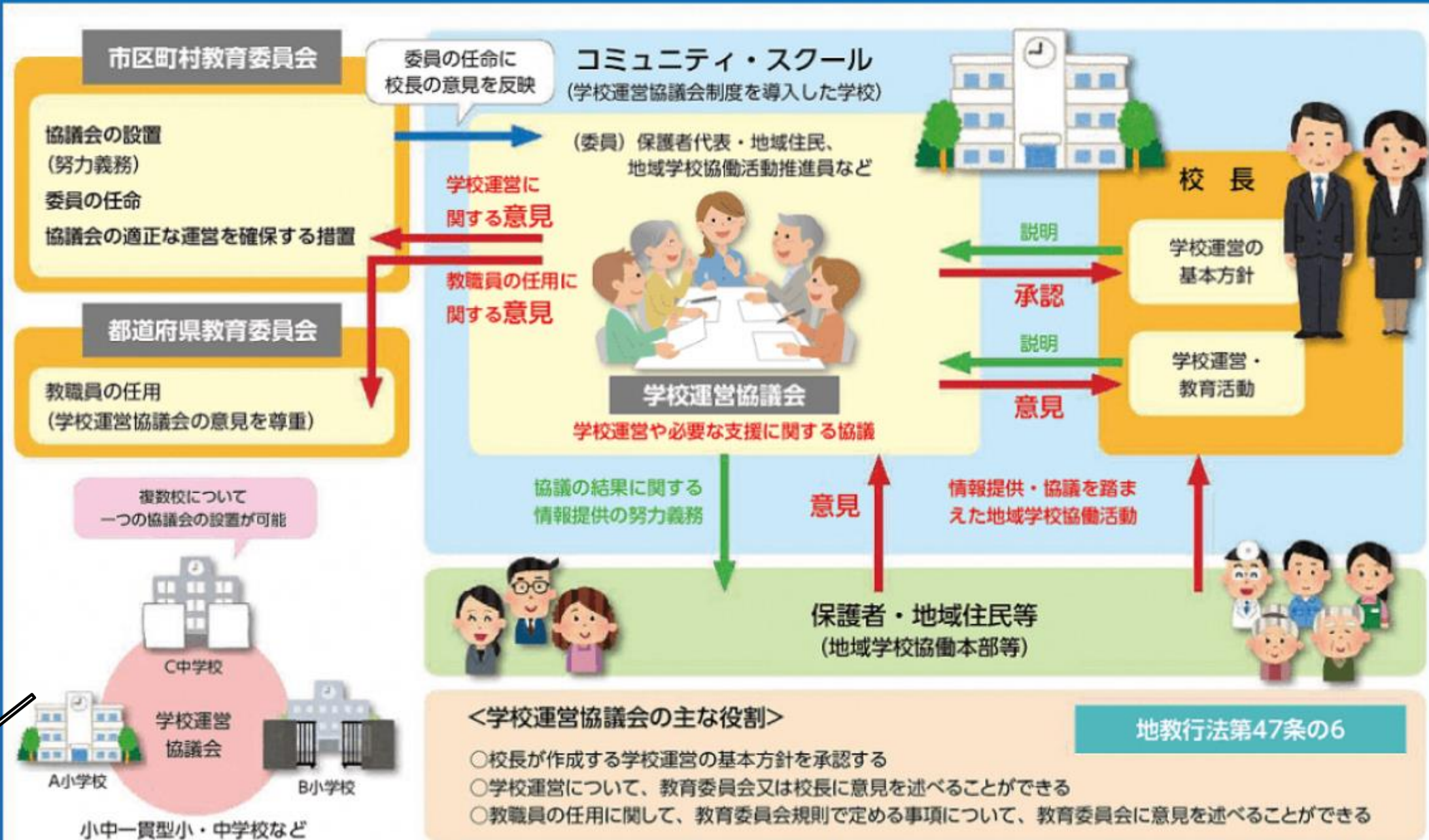
■ 公益社団法人日本PTA全国協議会作成

日本PTA全国協議会は、全国のPTA連合会で構成される日本最大の社会教育関係団体です



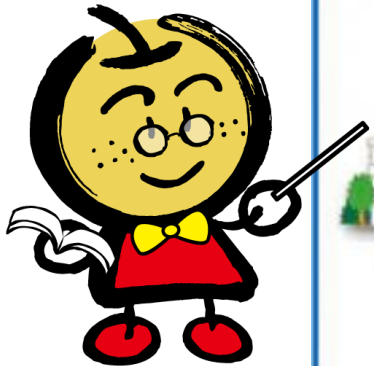
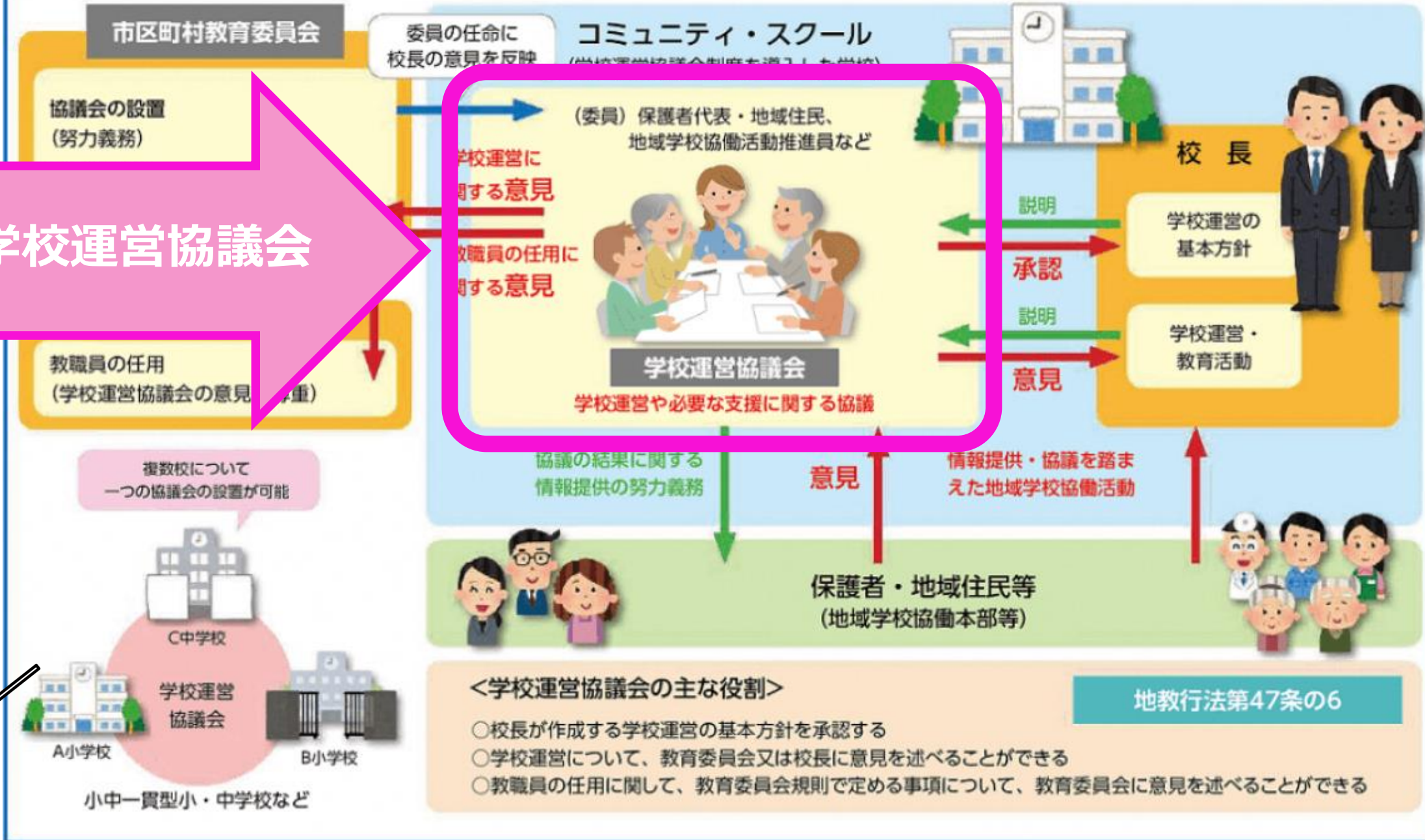
<https://www.youtube.com/watch?v=CT6gDnYqWU>

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み



コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み

学校運営協議会



「学校運営協議会」の役割とは

主な3つの役割

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること（必須）
- 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べることができる（任意）
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる（任意）



教職員の任用に関する例

- 学習端末の有効活用のために情報教育に精通している教員を配置してほしい。○
- 若手教員の人材育成のために、リーダー性をもった教員を配置してほしい。○

教職員の任用に関する例

- 校長の異動を後2年延ばしてほしい。×
- 県大会があるため●●部の顧問を残してほしい。×

(コミュニティ・スクール)

CSを機能させるために 共通の目標を設定

- 保護者と先生が共通の目標を持って子どもの教育に取り組み、それをさらに地域の皆さんと共有していくことが大事
- 参加しやすい、参加したくなるような活動となるとうい
- 情報発信も大切



目次

- 1 コミュニティ・スクール(CS)の概要について
- 2 これからの学校と地域とPTAについて
(主に学校運営協議会について)
- 3 CSの魅力について**
(主に学校運営協議会の導入事例について)
- 4 地域住民ボランティアの関わり方について
(主に地域学校協働本部について)
- 5 まとめ

動画視聴②

お伝えします!

コミュニティ・スクールの魅力

■ 文部科学省作成（兵庫県川西市）

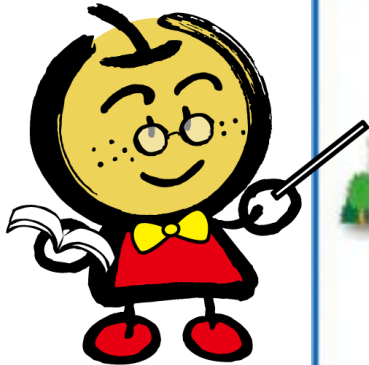
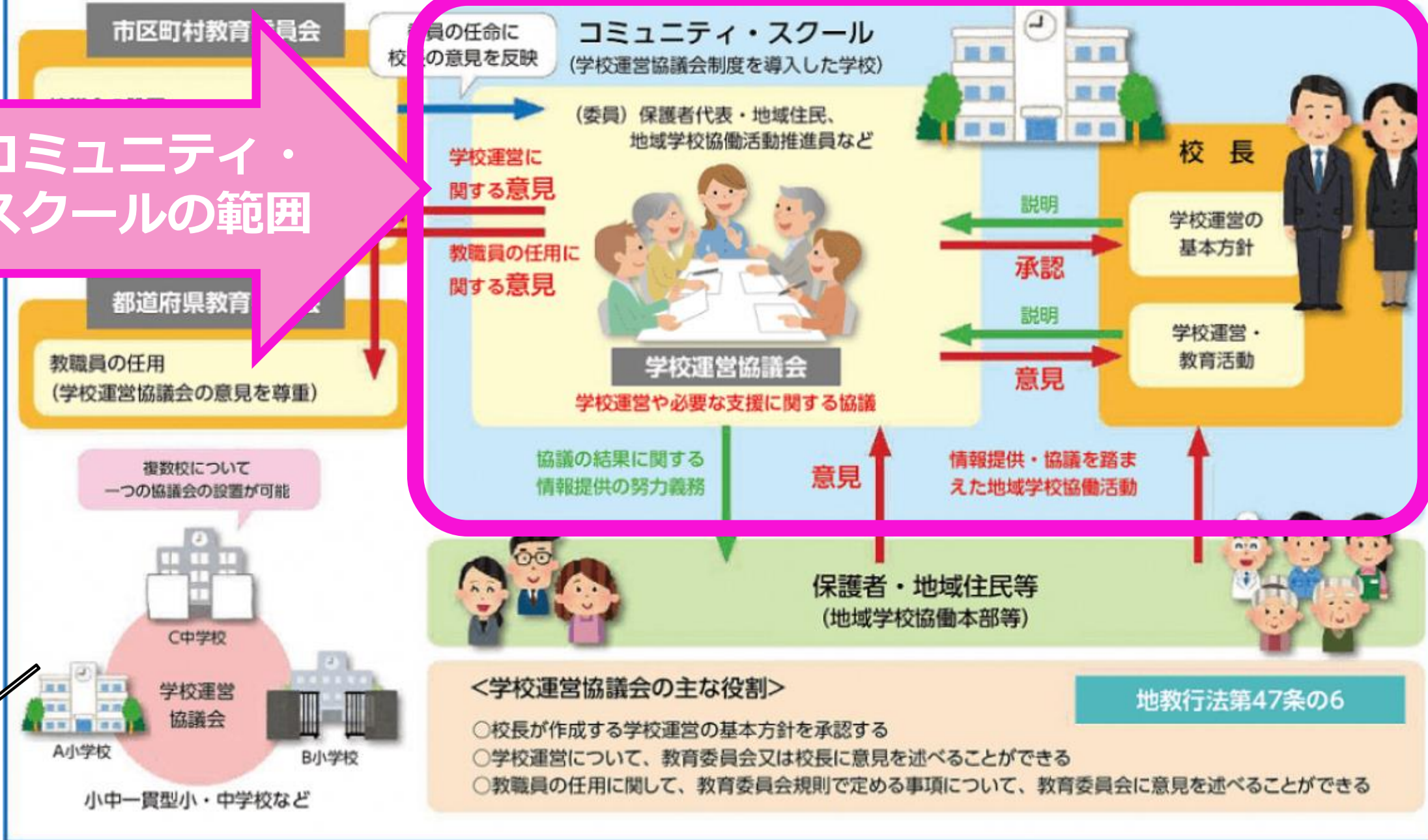
地域とともにある学校づくり推進フォーラム2022
兵庫 オープニング・ムービー



<https://www.youtube.com/watch?v=x67xrLvc2LM>

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み

コミュニティ・スクールの範囲



(コミュニティ・スクール)

教委としてCSを導入する理由

■ 学校を開く

- ・学校運営に地域や保護者の視点を取り入れる

■ 地域と学ぶ 地域に学ぶ

■ 持続可能な教育体制をつくる

- ・教職員の勤務時間適正化、業務改善の必要性
- ・子どもの安全を守る仕組みやPTAのあり方
- ・部活動の今後とCSの重要性が増すこと

【参考】兵庫県川西市教育委員会の導入理由（視聴動画より）



(コミュニティ・スクール)

CSの良さや魅力とは

- ふるさと意識の醸成
- 学校と地域が同じ目標に向かう
- 校長の決断や取り組みをバックアップ
- 学校運営上の課題を共有しともに考える
- 学校を核として地域の繋がり

**それぞれの地域に合った目標を
地域で共有することが大切**



学校運営協議会を

実効性のあるものとするために

- 学校運営上の課題についてともに考える
- 目的、ビジョンを明確に示す
- 指導主事の派遣による継続的な指導・助言
学校で主体的に活躍できる人材育成



【参考】兵庫県川西市教育委員会の導入理由（視聴動画より）

目次

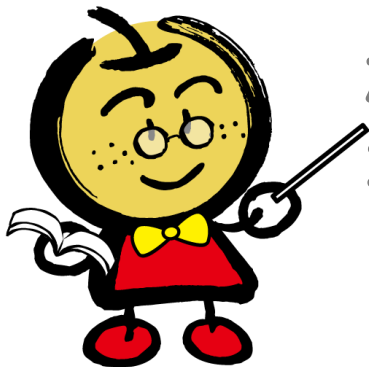
- 1 コミュニティ・スクール(CS)の概要について
- 2 これからの学校と地域とPTAについて
(主に学校運営協議会について)
- 3 CSの魅力について
(主に学校運営協議会の導入事例について)
- 4 地域住民ボランティアの関わり方について**
(主に地域学校協働本部について)
- 5 まとめ

動画視聴③

「信州型コミュニティスクール ～地域と共にある学校づくり～」

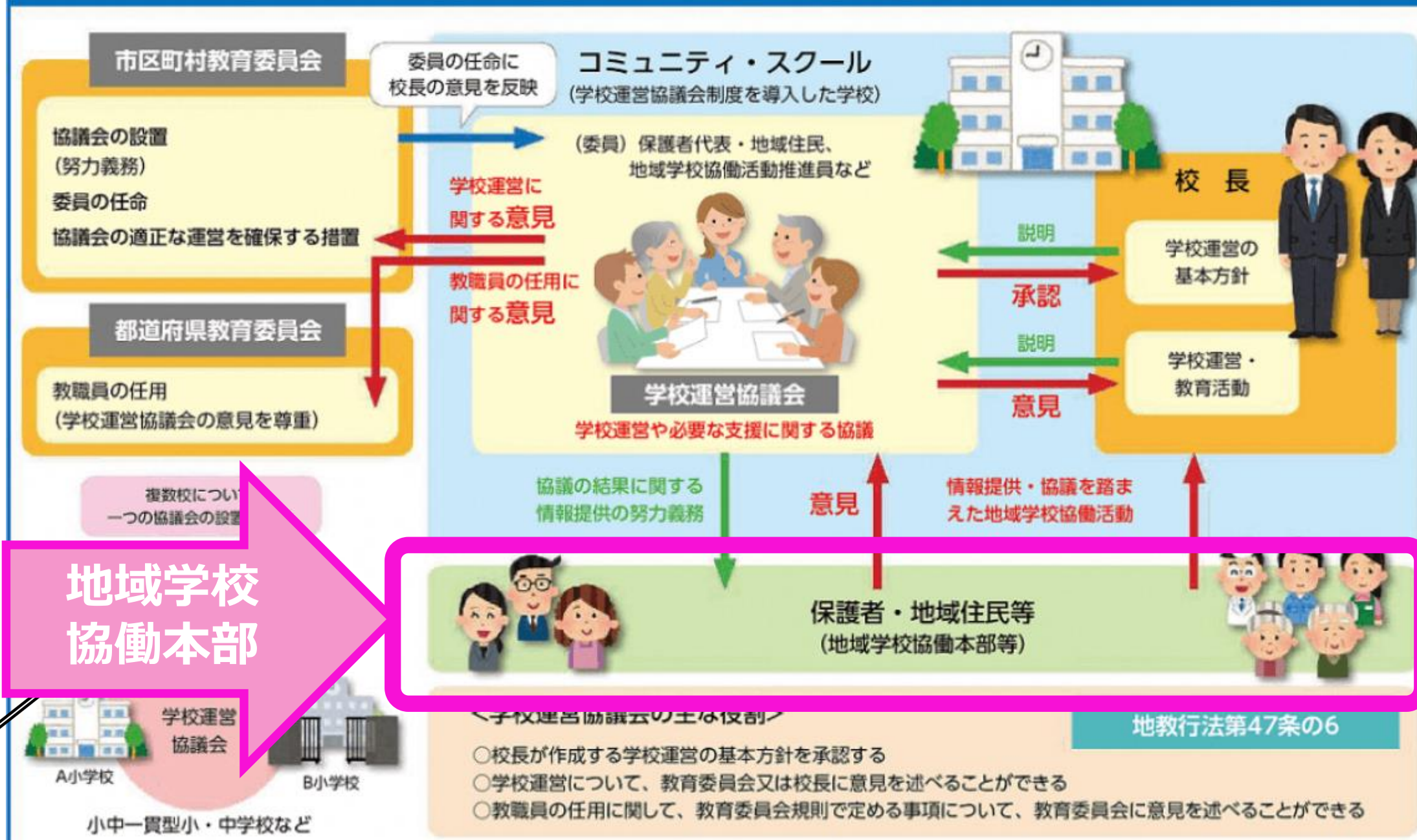
■長野県上田市行政チャンネル

神科小学校の学校支援ボランティアグループ「おたすけっ十(と)有志隊」の活動をとおして、信州型コミュニティスクールの様子についてお伝えします

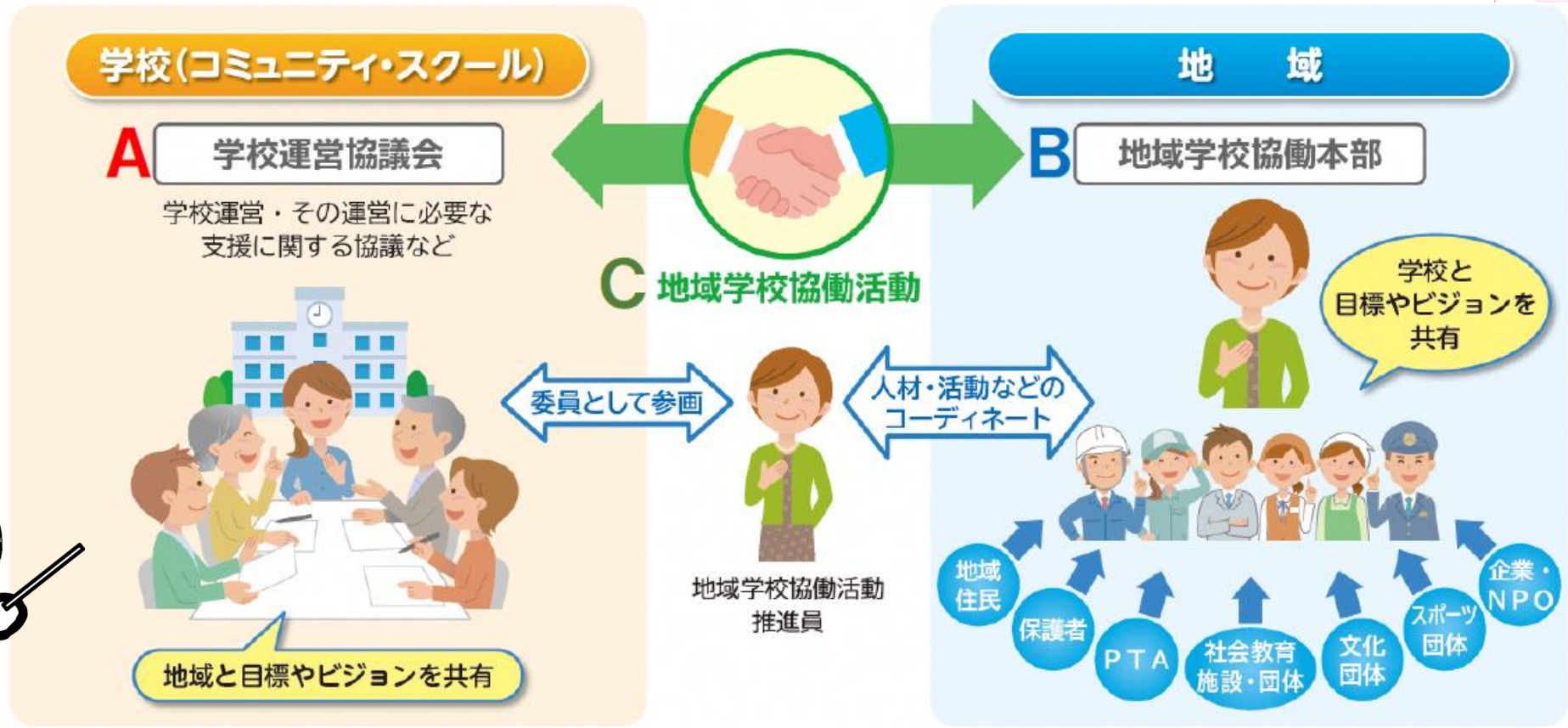


https://www.youtube.com/watch?v=aRCC5_V3J8M

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み



学校(A)と地域(B)と 地域学校協働活動(C)の関係性



地域学校協働活動のねらい

- 子ども達が日常的に地域の人と関わる様々な体験を通して、生きる力を身につけてほしい。という共通の思い
- 地域全体で子どもを育てる取り組み

【参考】長野県上田市の事例（視聴動画より）

子どもの教育を学校だけでなく、
地域全体で見守っていく関係性が重要



具体的な地域学校協働活動

- 絵本の読み聞かせ
- 家庭科や図工の授業時の先生のサポート
- 学校行事の手伝い
- 学校環境整備 など

【参考】長野県上田市の事例（視聴動画より）

学校の困りごとや必要とする支援と
地域人材の能力ややりがいのマッチングが大切



活動を支える地域住民

- 気負う必要なし
- 義務ではなく、主体的に参加
- 教えることは先生がいるので、サポートに徹する
- 特別な能力は必要なく、普通の人に関われる

【参考】長野県上田市の事例（視聴動画より）

子どもたちの支援ができる
子どもたちを育てる役に立てる
学校の支えになれる



地域住民同士の交流の場

■ 交流は、地域住民と子どもだけでない

- ・学校、子どもを介して、地域の住民同士の交流が新たに生まれる

■ 大人だけでもティータイム

- ・活動後の反省会
- ・次回に向けた打合せ
- ・雑談から生まれる情報共有

【参考】長野県上田市の事例（視聴動画より）

学校を中心に、地域のつながり再構築



学校として役立っている点

- 多くの人に助けをもらうことで、より安全に、より確実に学習することが身に付く
- 専門的な知識を持った住民の参加により、担任からだけ教わるよりも飛躍的に深まったり、広がったり
- 地域の方が学校に入って子どもたちと接することで、今の子供たちがどんなことを考えているのか、どんなことに興味や関心を持っているのかに接してもらえる



【参考】長野県上田市の事例（視聴動画より）

(コミュニティ・スクール)

CS導入のキーワード

- できる人が、できる時に、できることをする
- 地域の方と学校の双方にとって負担なく、活動が継続的に行えるような仕組みづくりを目指す

【参考】長野県上田市の事例(視聴動画より)



(コミュニティ・スクール)

CS導入で地域人材を活用

■ 地域の人材発掘意識の醸成

- ・地域全体で学校に協力できる人材の情報共有が進む
- ・テレワークの増加により、知識や技術を持った新たな人材もいるのでは

■ 地域人材の学校への関わりやすさ向上

- ・子どもが卒業しても、学校に継続して関わるのが可能
- ・今まで学校と接点のない人も学校に積極的に関与が可能

■ 学校の地域人材活用意識の醸成

- ・学校の諸問題の解決を地域人材に求めるのが可能



目次

- 1 コミュニティ・スクール(CS)の概要について
- 2 これからの学校と地域とPTAについて
(主に学校運営協議会について)
- 3 CSの魅力について
(主に学校運営協議会の導入事例について)
- 4 地域住民ボランティアの関わり方について
(主に地域学校協働本部について)

5 まとめ



(コミュニティ・スクール)

CSを含む地域全体の連携が大切



コミュニティ・スクール

(学校運営協議会制度を導入した学校)

学校運営協議会

(保護者代表・地域住民・地域学校活動
推進員など)

校長



(学校・教職員)

連携・
協働



地域学校協働推進員

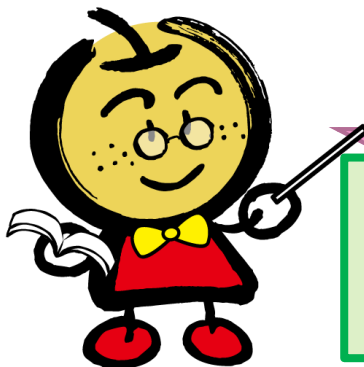
(コーディネータの役割)

地域学校協働活動



地域学校協働本部

(保護者・地域住民等)



ご清聴ありがとうございました

白井市教育委員会 教育部 学校政策課

▶ 動画 1

■日本PTA（動画 6：58）これからの学校と地域とPTA-コミュニティ・スクールとPTA-【日本PTA】

https://www.youtube.com/watch?v=_CT6gDnYqWU

動画 2

■文部科学省（動画 7：45） 地域とともにある学校づくり推進フォーラム 2022 兵庫 オープニング・ムービー

<https://www.youtube.com/watch?v=x67xrLvc2LM>

動画 3

■上田市政企画番組「信州型コミュニティスクール～地域と共にある学校づくり～」（動画 12：20）

https://www.youtube.com/watch?v=aRCC5_V3J8M